

研究課題名	鼠径部ヘルニアに対する手術治療の短期的及び長期的成績に関する後向き臨床研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 外科・消化器外科 氏名 山口和哉
研究期間	倫理審査委員会承認後 ～ (西暦) 2030年12月
研究の意義・目的	鼠径部ヘルニアに対する治療は手術が主体となる。同じ鼠径部ヘルニアに対しても適応となる術式が多数ある。従来から鼠径部切開法は一般的に行われており、その中でもメッシュを用いる方法や、自家組織のみで修復する方法がある。また近年では腹腔鏡を用いたTAPP法やTEP法も広く行われている。ただしそれらの適応や、周術期の経過、術後慢性疼痛やヘルニア再発の発生頻度には様々な報告があり定まっていないことも多い。本研究ではそれぞれの術式の短期的、長期的成績を比較し、個々の鼠径部ヘルニアに対する最善の治療を検討することを目的としている。
研究の方法 (対象期間含む)	2000年1月1日以降、当院で鼠径部ヘルニアに対する治療を受けた患者を対象とする。予後情報はカルテから確認する。 まずカルテの記載より、患者の背景や治療内容、治療後の経過などを抽出し、特定の個人が識別できないように加工した症例データベースを構築する。作られたデータベースを利用し、情報の集計と予後についての解析を行う。
①試料・情報の利用 目的および利用方法	
②利用し、又は提供する 試料・情報の項目	②患者の背景（手術時の性別、年齢、身長、体重、併存疾患の有無）、手術に関する内容（術式、手術時間、出血量、麻酔記録）、手術入院時の内容（術後の経過や合併症、あるいは合併症の治療内容）、退院後の内容（再発の有無や経過、長期的な合併症・後遺症）、最新の通院日
③試料・情報の取得 の方法	
④利用する者の範囲	④研究責任者、研究分担者
⑤試料・情報の管理 について責任を有する 者の氏名又は名称	⑤武蔵野赤十字病院 外科・消化器外科 山口和哉、ならびに 武蔵野赤十字病院 院長 黒崎雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 外科・消化器外科 氏名 山口和哉 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525